

本巢市 橋梁長寿命化修繕計画

令和8年 1月

本巢市 都市建設部 建設課

1 長寿命化修繕計画策定の目的

1) 背景

- ・本本市が管理する橋梁は現在 789 橋あり、供用開始後の年数から高齢化橋梁が増大する。
- ・このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

2) 目的

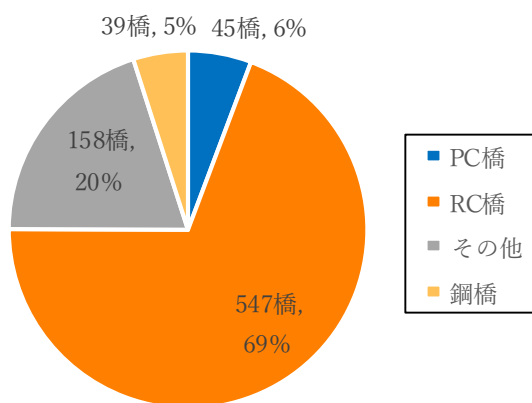
- ・道路交通の安全性を確保するために、これまでの対症療法的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、橋梁の長寿命化及びコスト縮減を図る。
- ・地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

2 長寿命化修繕計画の対象橋梁

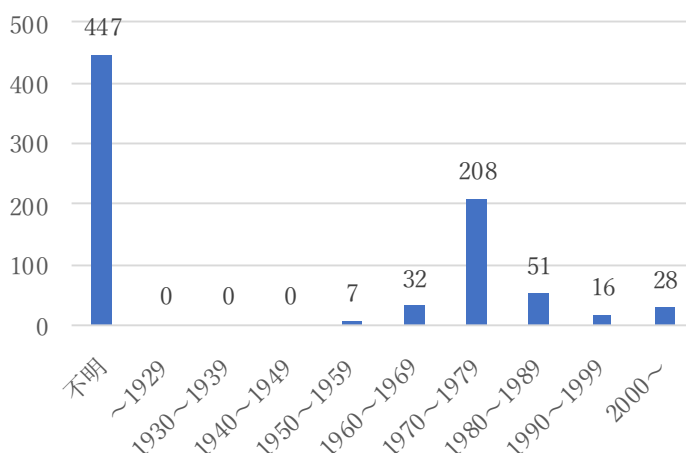
区 分	管理橋梁数	判定区分内訳			
		I	II	III	IV
橋長15m以上	61	26	31	4	0
橋長15m未満	728	554	169	5	0
計	789	(74%) 580	(25%) 200	(1%) 9	(0%) 0

・長寿命化修繕計画を行っていない橋梁は、日常点検を実施して損傷状況を把握したうえで修繕計画の対象とするかを今後検討していく。

橋種別橋梁数



架設年次別橋梁数



3 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、岐阜県橋梁点検マニュアルに基づいて定期的な点検を実施し、橋梁の劣化損傷状況から健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロールを実施し、劣化損傷の把握に努める。

3) 新技術等の活用方針

令和10年度までに修繕を実施する10橋程度において、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に新技術の活用を用い、事業の効率化やコスト縮減を図り、5年間で約200万円のコスト縮減を目指す。

4) 橋梁点検に係る費用の縮減方針

令和5年度から、管理する橋梁のうち、橋長が短く構造が単純な橋梁について、毎年20橋の橋梁を直営点検にて実施し、令和10年度までに約300万円のコスト縮減を目指す。

4 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 予防的修繕の実施

健全度の把握及び日常的な維持管理を行うことにより、予防的な修繕等の実施を徹底する。このことによって修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、コストの縮減を図る。

2) 橋梁の集約化・撤去

現状、地元住民が日常的に橋梁を使用しており、集約・撤去を行った場合の影響が大きいことから、困難な状況である。今後、周辺環境の変化や代替路等を踏まえて、交通網を総合的に判断し、撤去が有効となった場合は、検討を進める。

5 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

今後5年間の計画は、別紙計画表の通り。

6 長寿命化修繕計画による効果

修繕・架替えに要する経費については、今後50年間で対症的な補修等であれば13.8億円必要であったものが、長寿命化修繕計画を策定することにより9.5億円（▲4.3億円）となり、約31%の縮減が見込まれる。

7 計画策定担当部署

本巢市役所 都市建設部 建設課 建設係 TEL 058-323-7757